

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となってしまったが、引き続き所沢市最大のイベントの一つである、ところざわまつりを盛り上げていく。毎年、まつりを楽しみにしている人も多く、他市からの来場者には所沢市をアピールする良い機会でもある。商工会議所と協力しながら実施していきたい。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,000千円	2,485千円	①人出	人出	ところざわまつりに訪れる人出の実績直近で実施したH30の実績とした。								中止となったため実施していないが、まつり当日のスタッフ配置(市職員の配置)を工夫することで、人件費の削減に努める試みを実施する予定だった。
	根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)	②パレード参加団体										事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	特になし		0千円	0千円	③										新型コロナウイルス感染症と共存したまつりの運営が求められる。ウイルスを正しく恐れ、リスクを最小限に留める一方で、これまでの伝統を重んじ、街の活性化に最大限寄与できるようにまつりの形を確立する必要がある。
	事業の目的及び具体的な内容	所沢の歴史と文化を後世に伝え、人と人のつながりや、商店街の活性化を始め、経済効果を生むところざわまつりの開催の支援を目的とする。実行委員会に対し、開催費を商工会議所と分担金として負担するとともに、山車運営委員会、イベント運営委員会の事務局を担当。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①0人	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							どのように貢献したか
	期間	S63~	0.73人	非常勤特別職 0.00人	②0団体	220,000人	0人								どこぞがまつりが実施された場合には、市内外からの来場者による地域活性化により、持続可能なまちづくりに貢献できる。
			6,068千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	250,000人	0人							
		0.43人	臨時職員 0.20人		220,000人										
		3,512千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合											
			0.43人	会年職員 0.00人											
			3,512千円												
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	所沢市商店街連合会は、市内の多くの商店街が加入し、商店街の振興にとって重要な組織である。商店街振興を図るため、引き続き同会を支援していく。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	210千円	210千円	①会員数	商店街連合会加盟商店街の会員数	目標値は前年実績。							新型コロナウイルス感染症に関する情報周知について、協力をお願いし、会員商店街への情報提供を迅速に行うことができた。	
	根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)	②事業費									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	所沢市商工団体補助金交付要綱		210千円	210千円	③									どのように貢献したか	
	事業の目的及び具体的な内容	市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することにより、本市の商業振興を図るものである。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①1,192事業者	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析						商店街連合会を通して各商店街に関わる情報の提供を行った。	
	期間	S59~	0.09人	非常勤特別職 0.00人	②11,054,895円	1,263事業者	1,199事業者								
			748千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	1,199事業者	1,192事業者							
		0.09人	臨時職員 0.01人												
		735千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合											
			0.09人	会年職員 0.01人											
			735千円												
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	商店街の会員数は後継者の不足等の理由に加え新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少傾向にある。補助金交付事務については効率的な事務運営を行っており、今後も同様の効果をあげていきたい。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	44,430千円	36,026千円	①事業件数	商店街加盟店舗数	令和元年度以降は、商店街加盟店舗数を評価指標とし、既存店舗の支援及び空き店舗の解消を進める。							商店街の電気料の補助金増額や商店街が実施する新型コロナウイルス感染症対策への補助など、会の継続につながる支援を行った。	
	根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)	②総事業費									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	所沢市魅力ある商店街創出支援事業補助金交付要綱		45,916千円	30,535千円	③									どのように貢献したか	
	事業の目的及び具体的な内容	市内の商店街の振興と活性化を目的とし、補助金交付を行う。 ・共同施設整備事業 補助率:1/3以内 ・共同事業 補助率:事業内容により1/2、2/5、1/3以内 ・街路灯電気料 令和2年度に限り補助率:10/10(千円未満切り捨て)	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①92件	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析						各商店街の魅力ある商店街づくりに繋がる事業に対して補助制度を通して支援した。	
	期間	S57~	0.44人	非常勤特別職 0.00人	②61,191,211円	1472店舗(加盟店舗数)	1356店舗(加盟店舗数)								
			3,657千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	1356店舗(加盟店舗数)	1331店舗(加盟店舗数)							
		0.31人	臨時職員 0.30人												
		2,532千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合											
			0.31人	会年職員 0.30人											
			2,532千円												
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当該事業は年々周知されており、相談件数も増加傾向にある。引き続き事業を実施していきたい。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,400千円	2,400千円	①本補助金活用店舗数	本補助金活用店舗数	予算額2,400千円(1事業限度額1,200千円×2店舗)							当補助金の案内チラシの修正を行った。	
	根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)	②									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	所沢市空き店舗活用・新規創業支援出店補助金交付要綱		2,400千円	2,400千円	③									どのように貢献したか	
	事業の目的及び具体的な内容	新規創業者を支援して商業や商店街等の活性化を図るため、空き店舗の活用事業を始める者に、事業開始に必要な初期経費について補助する。市内商店街の空き店舗を利用し、にぎわいを創出する出店者を募集し、補助金を交付する。 ・補助金額 経費の1/3以内(限度額120万円)	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①2店舗	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析						本補助金を通して、空き店舗を解消し商店街の活性化に貢献した。	
	期間	H24~	0.31人	非常勤特別職 0.00人	②	2店舗	2店舗								
			2,577千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	2店舗	2店舗							
		0.18人	臨時職員 0.01人												
		1,470千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合											
			0.18人	会年職員 0.01人											
			1,470千円												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取組みを積極的に行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら、引き続き多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるように関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力向上に努めていく。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	11,614千円	10,828千円	①トイレ清掃回数(狭山湖・トロの森観光トイレ)	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②桜並木ライトアップ日数											
	観光拠点の整備・充実事業	観光立国推進基本法	7,839千円	6,967千円	③狭山湖利用駐車場利用台数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	5,700,000人	5,973,184人	集計中							
		市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。具体的内容は次のとおり。 ・狭山湖駐車場修繕 ・航空記念公園展示用輸送機維持管理 ・東川桜並木ライトアップ	0.34人	0.00人	①480回	R2目標	R2実績								
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②14日	6,600,000人	集計中									
H7~	0.44人	0.10人	③83,035台	R3目標											
	3,594千円			6,900,000人											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となった。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任 つかう責任	15. 陸の豊かさを守ろう	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①共同事業への参加回数	他自治体と連携したイベント等へ参加した回数	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町等で共同した狭山丘陵全体の魅力発信のための事業への参加回数とした。本事業は平成30年度より開始したので、目標値の設定は令和元年度からとした。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②											
	狭山丘陵の魅力の発掘・向上事業	観光立国推進基本法	0千円	0千円	③	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	21回	27回	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当初予定していた事業が中止となったため。							
		武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町で共同して狭山丘陵全体の魅力発信のための事業を行う。	0.23人	0.00人	①0回	R2目標	R2実績								
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②	22回	0回									
H30~	0.43人	0.00人	③												
	3,512千円														
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	東所沢商店組合のビジョン策定会や東所沢エリアの人材交流会の実施により、自走可能な商店街に向けた支援を行うことができた。また、東所沢地域の活用可能な公共空間や低未利用不動産等活用事例等のエリア調査分析及び人材発掘調査を東所沢エリアで実施した。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も	11. 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	-	-	①専門家エリア訪問回数	専門家エリア訪問回数	商店街定例会への参加による商店街支援等により、商店街の振興と人材育成を図るため、専門家対象エリア訪問回数を指数とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②商店街ビジョン策定会											
	みんなで作る次世代商店街事業	特になし	2,400千円	2,400千円	③人材交流会の実施回数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、東所沢商店組合の定例会の延期等があったため。							
		商店街の振興を図るとともに、商店街を担う人材を発掘・育成するため、商店街振興に関する専門家を派遣し、次世代商店街づくりの支援を行うものである。「ところざわサクラタウン」の開業にあわせ、東所沢地区及び東所沢和田地区一帯を対象に実施する。	-	-	①7回	R2目標	R2実績								
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②2回	10回	7回									
R2~	0.37人	0.00人	③1回	R3目標											
	3,022千円			10回											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染対策である「換気」に取り組む事業者を支援し、事業者の事業継続及び利用者の安全性の確保を促進することができた。	令和2年度から新規事業として取り組んだ。	8. 働きがいも経済成長も			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	-	-	①交付件数	換気促進機器導入補助金の交付件数	新型コロナウイルス感染症の感染対策である「換気」を行う店舗を増やすため、換気促進機器を導入した店舗数として、補助金の交付件数とした。なお、この事業は令和2年度より開始したので、目標値の設定は令和3年度からとした。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②											
	換気促進機器導入補助事業(所沢元気回復プロジェクト)	換気促進機器導入補助金交付要綱	40,000千円(R3に20,000千円)	17,669千円	③	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	-	-	感染対策である「換気」に取り組む事業者を継続して支援するとともに、換気促進機器に二酸化炭素濃度測定器を加えて補助対象を拡充する。							
		新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「換気」を促進するために必要な換気促進機器を導入する市内小規模事業者に対し、資機材の導入・改修費用の一部を補助するものである。補助率：9/10(上限10万円)	-	-	①232件	R2目標	R2実績								
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②	-	232件									
R2~	0.57人	0.19人	③	R3目標											
	4,656千円			200件											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛等による影響を受け、売上が減少した市内の事業者の事業継続を支援するため、インターネット上で、ところざわ産品を広く周知するサイト「とこモール」を開設し、インターネットを通じた通信販売等の利用を促進するもの。 ①販路拡充事業補助金(補助率:9/10、上限額10万円) ②ところざわ産品情報発信	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	①サイト「とこモール」への掲載事業者数	とこざわ産品を広く周知するサイト「とこモール」への掲載事業者数	インターネットを通じた通信販売を行う事業者の情報発信を行うことで、販売促進につながるため、サイト「とこモール」への掲載事業者数とした。なお、この事業は令和2年度より開始したので、目標値の設定は令和3年度からとした。								令和2年度から新規事業として取り組んだ。
	根拠法令	13,322千円	8,124千円	②販路拡充事業補助金の交付件数											事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	特になし	R3に4,800千円													どのように貢献したか
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析								インターネットを通じた通信販売を行う事業者の情報発信を継続して行うとともに、事業者向けのセミナーや市民(消費者)参加型のイベントを開催し、インターネットを通じた通信販売の促進を図る。
	期間	R2~	0.51人		実績										どのよう貢献したか
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内の飲食店に対して安全・安心な店舗運営に必要な感染症予防の効果的な対策等に係る研修を委託により行うもの。あわせて、市民に対しても、手指消毒や会食時のルール等についてホームページで啓発を行う。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	①集合研修参加人数	集合研修参加人数及び研修動画閲覧数の合算	安全・安心な店舗運営に必要な感染症予防の効果的な対策等を広く事業者へ広めていくため、集合研修の参加人数と研修動画の閲覧数とした。なお、この事業は令和2年度より開始したので、目標値の設定は令和3年度からとした。								令和2年度から新規事業として取り組んだ。
	根拠法令	10,830千円	4,707千円	②研修動画閲覧数											事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	特になし	R3に6,082千円													どのように貢献したか
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析								より多くの事業者に参加していただくとともに、正しく実践してもらう必要がある。また、事業者のみならず、来店する市民も正しい感染症対策を行なうために啓発していく必要がある。
	期間	R2~	0.27人		実績										どのよう貢献したか
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う各国の出入国規制により訪日外国人観光客の誘致は困難となった上、出展予定だった海外旅行博の一つ(香港ブックフェア)が中止となったが、ところざわサクラタウンと連携した所沢の多彩な魅力を多様な手法で海外市場に向けて発信することができた。また、所沢駅及び東所沢駅周辺の観光案内板を多言語対応するとともに、指さし会話シート(新型コロナ対応編)を作成するなど、市内の外国人観光客受入体制を整備した。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	①WEB記事のPV数(台湾向け)	Facebook"いいね"とTwitterフォロワー数の合計	SNSが外国人旅行者の情報源の主流となっていることから、外国人旅行者における本市の関心度や情報発信の効果を図るFacebook"いいね"とTwitterのフォロワー数を指標とする。								ところざわサクラタウンと連携した海外市場への情報発信にあたって、一般財団法人自治体国際化協会による助成金を活用したり、観光案内板の作成にあたって、観光庁による補助金を活用した。
	根拠法令	2,750千円	2,449千円	②外国人向け所沢紹介動画(4本)のSNS配信の総再生回数(香港向け)											事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	特になし	16,226千円	14,822千円	③外国人向け所沢紹介動画(4本)のSNS配信の総再生回数(中国向け)											どのように貢献したか
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析								新型コロナウイルス感染症の収束後に想定される観光需要の回復に備えるため、継続して海外に向けた情報発信を行う。また、外国人観光客を新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら受入れるための体制整備を行う。
	期間	H30~	0.78人	0.00人	①6,678PV	5,200人	8,642人								観光ガイドブック等を多言語化し、情報のアクセスの平等性を確保した。
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	本市を訪れる観光客の市内及び近隣自治体への回遊性を高めるため、市内の様々な魅力あるスポットをつなぐ方策について検討し、広域連携の取組みを活かして回遊性の向上を図る。具体的な取り組み内容 ①シェアサイクルの導入 ②広域連携による回遊性向上に向けた事業の検討 ・埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)観光部会 ・西武線沿線サミット ・狭山丘陵観光連携事業推進実行委員会	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	①シェアサイクル利用者数	広域連携で実施した観光プロモーション数	観光客の回遊性を高めるためには、広域連携の取組みが効果的なため。								シェアサイクルの実証実験を開始した。西武線沿線サミットのロゴマークの募集を行った。(令和3年度、ロゴマークを決定する)
	根拠法令	0千円	0千円	②シェアサイクルポート数											事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	特になし	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③広域連携による観光プロモーション数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析								どのように貢献したか
	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	目標達成済み								シェアサイクルステーションの数を増やすとともに、市民への利用促進につなげ、2年間の実証実験の成果をあげる。ロゴマークにより、西武線沿線サミットのPRを図り、広域連携を促進する。
	期間	R2~	0.00人	0.00人	①3,010人	8回	8回								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標以上の成果が上がったため。	R2年度に改善した点	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう	
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	3,622千円	2,930千円									
	所沢ブランド特産品創出支援事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	①認定商品申請件数 ②認定商品選定件数 ③販売協力店舗数 (認定者自店舗含む)	①補助対象事業の選定件数(H29～31年度) ②認定商品の選定件数(H30～32年) ③販売協力店舗数(H30～32年)	魅力的な特産品の創出が事業目的となっていることから、創出促進のための各支援(補助支援・認定支援・販路支援)の実績値を目標値とした。						
		所沢ブランド特産品認定要綱	2,927千円	2,131千円									
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H29～H32	平成29年度より実施している本事業は、「ところざわサクラタウン」の完成や東京オリンピック・パラリンピック開催等の好機を見据え、所沢を象徴する土産品を訪日外国人客を含めた市内外に販売できるよう、地場農産物等を活かした特産品の創出を支援することを目的とする。 今後においても、地域経済の活性化や所沢ブランドの創造を図り、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点プロジェクトに位置付けられた「COOL JAPAN FOREST構想」の推進に資していくものである。	0.63人	0.00人	①11件 ②6件 ③12件	①3件 ②5件 ③10件	①3件 ②13件 ③22件					
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①11件 ②6件 ③12件	①1件 ②5件 ③10件	①1件 ②6件 ③12件	目標達成						
		5,237千円	0.00人		R3目標								
		0.57人	0.00人		①1件 ②5件 ③5件								
		4,656千円											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	「クアオルト健康ウォーキング」の実施回数が目標値に及ばなかったため。健康長寿のまちの実現に寄与するため、コロナ禍における実施方法を模索していく必要がある。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を 15. 陸の豊かさを守ろう	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	500千円	500千円	①「クアオルト健康ウォーキング」実施回数	「クアオルト健康ウォーキング」実施回数	本事業は「クアオルト健康ウォーキング」を多くの人に利用してもらい、健康づくりや産業・観光振興、環境保全等の事業を推進することを目的とする。						
	ヘルスツーリズム産業創出支援事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②								
		埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会補助金交付要綱	500千円	415千円	③								
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析					
	期間	R1～	埼玉県ヘルスツーリズム産業創出支援事業の一環として、クアオルト健康ウォーキングを活用した観光振興を実施するに当たり、関係団体と構成する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」の運営が、円滑かつ効果的になされるよう支援を行う。	1.09人	0.00人	①7回 ② ③	30回	31回					
		埼玉県ヘルスツーリズム産業創出支援事業の一環として、クアオルト健康ウォーキングを活用した観光振興を実施するに当たり、関係団体と構成する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」の運営が、円滑かつ効果的になされるよう支援を行う。	9,060千円	0.40人	①7回 ② ③	R2目標	R2実績	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年4～8月及び令和3年1～3月の期間を中止したことにより実施回数が減ったため。					
		0.36人	0.15人		R3目標								
		2,940千円			10回								
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初20回を予定していた令和2年度の協働事業実施が2回となったため。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	地域社会の発展や地域福祉の向上などに寄与することを目的として、平成27年3月に「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協定」に関する基本協定(フレンドリーシティ)を締結している。						
	ブランド価値の向上事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②								
		特になし	0千円	0千円	③								
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H17～	プロスポーツをはじめとする観光資源を積極的に取り上げ、本市ならではのブランド価値を高める"ふるさと所沢"への愛着や誇りを醸成していく。	0.09人	0.00人	①2回 ② ③	15回	10回					
		プロスポーツをはじめとする観光資源を積極的に取り上げ、本市ならではのブランド価値を高める"ふるさと所沢"への愛着や誇りを醸成していく。	748千円	0.20人	①2回 ② ③	R2目標	R2実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当初予定していた事業が中止となったため。					
		0.28人	0.15人		R3目標								
		2,287千円			10回								
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成26年からのチャレンジにより、この度、世界農業遺産への認定申請に係る承認を得ることができたため。	R2年度に改善した点	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 15. 陸の豊かさを守ろう	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	100千円	100千円	①武蔵野の落ち葉堆肥農法PR事業	武蔵野の落ち葉堆肥農法のPR	武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会は、伝統的農法を次世代へ継承していくとともに広くPRに向けた取組みを進めて行くものであるため、この事務事業評価においても、協議会としての目標を設定する。(なお、目標は数値化できないため、取組みを目標とする。)						
	武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②幹事会開催回数								
		武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会規約	100千円	100千円	③								
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H29～	「農業遺産」への認定を通じて、将来に受け継がれるべき伝統的な農業システムとしての武蔵野の落ち葉堆肥農法を広く発信することを目指すとともに、平地林の育成と落ち葉堆肥を利用した伝統的農法の継続を推進するものである。	0.07人	0.00人	①世界農業遺産への認定申請に係る承認を得る ②5回 ③	落ち葉堆肥農法PR事業の実施	実践農業者へ補助金を交付					
		「農業遺産」への認定を通じて、将来に受け継がれるべき伝統的な農業システムとしての武蔵野の落ち葉堆肥農法を広く発信することを目指すとともに、平地林の育成と落ち葉堆肥を利用した伝統的農法の継続を推進するものである。	582千円	0.00人	①世界農業遺産への認定申請に係る承認を得る ②5回 ③	R2目標	R2実績	落ち葉堆肥農法PR事業の実施					
		0.08人	0.00人		R3目標								
		653千円			世界農業遺産の認定								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	コロナ禍により、所沢農産物についてPRの場が減少したことから、農業情報誌等で農産物直売所の周知を行うとともに、生産者を紹介することで、所沢農産物のPRを図った。また、とことこ市は、規模を縮小し回数を増やした分散開催、職員向けの予約販売の実施など支援を行った。	R2年度に改善した点	1. 貧困をなくそう 13. 気候変動に具体的な対策を			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,463千円	1,927千円	①とことこ市開催回数	所沢産農産物の直売所への出荷割合	地元の農産物がどれだけ所沢で消費されているかを測るため、市場に流通する農産物ではなく、地元の直売所または、スーパーなどへの出荷率を指標とした。				農業情報誌や地産地消レシポの紙面について、所沢農産物の魅力をより分かりやすく伝え、多くの方に手に取ってもらえるように変更した。				
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②とことこ市売上実績	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			8. 働きがいも経済成長も				
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	R2目標		R2実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	新鮮でおいしい地元農畜産物のPRを図り、地域で消費することにより、消費者の食の安心・安全へのニーズに応えるとともに、生産者の生産意欲の拡大を図る。そのために、地産農産物の学校給食への導入及び品目拡大、市民への農産物のPR活動や生産者による直売会の開催、農産物直売所ガイドマップの作成等を実施することで、地産地消の推進を図る。また市内の直売施設のPR活動を進める。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①22回	R3目標	60%	目標達成済	どのよう貢献したか							
	期間	H15～	R2非常勤特別職	0.00人	②2,317,775円	60%	60%	地産地消の推進により、生産者の生産意欲を拡大							
			R2会年職員	0.00人	③	60%									
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症拡大防止により講習会の開催を中止としたが、作付方法や農場活用事例を掲載したパンフレットを作成し利用者へ配付することで代替とした。	R2年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	3,502千円	2,961千円	①貸出区画数	講習会の参加人数	体験農場の利用者を対象に、作物の作付や防虫など技術的な知識を習得するため、年度内に2回(春・夏)研修会を実施している。利用者の技術と意欲の向上、及び農業への関心に最も寄与していると思われる「体験農場講習会」の参加人数を指標とした。				新たに2農場を開設したことで、農場の充実を図ったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、利用者の募集中断や入場料の納入を遅らせることで、不要不急の外出を極力抑止させ、感染状況等に配慮しながら事務を進めた。				
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②体験農場利用料	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			11. 住み続けられるまちづくりを				
	特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	R2目標		R2実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	事業の目的及び具体的な内容	R2非常勤特別職	0.00人	①501区画	R3目標	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、講習会の開催を中止としたため	どのよう貢献したか							
	「農のあるまちづくり」を推進するため、市内に9箇所の体験農場を設置し貸し出しすることで、市民が農作業を体験することにより、農業への理解を深めることを目的とする。また、利用者の農業技術の向上を図り、農業への関心を深めるため、講習会を実施する。	R2臨時職員	0.00人	②1,732,500円	30名			「農のあるまちづくり」を推進するとともに、農とふれあう機会を増やし、農業への理解を深めた、							
	期間	S59～	R2会年職員	0.00人	③										
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、農業祭を開催することができなかったが、農業者団体が、とことこわくわくタウンでの農産物のPRイベントや、団体独自の事業として品評会等を開催し、市がそのサポートをしたことで、農業祭の開催目的である「生産者、消費者との交流」や「生産技術の向上」を実現した。	R2年度に改善した点	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	500千円	500千円	①農業祭実施	売上実績	所沢農産物の認知度や需要を計るため、生産者がイベント時に直接販売する売上実績を指標とする。				農業祭を開催することができなかったが、農業者団体に協力を行い、農業祭の目的に沿った事業を開催することができた。				
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②農業祭実行委員会	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			どのよう貢献したか				
	所沢市補助金等交付規則 所沢市農業振興総合対策要綱	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③共進会・品評会	R2目標		R2実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	事業の目的及び具体的な内容	R2非常勤特別職	0.00人	①中止	R3目標	0千円	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の開催を中止したため。	品評会等の開催による生産技術の向上							
	販売会を通じて、生産者自らが販売することで、都市住民とのふれあいの機会を設ける。農業者は各種共進会や品評会において、生産技術の向上を図る。農業祭を実施するにあたり、農業団体代表が農業祭実行委員会を組織する。農業祭では、各々団体が出店や展示等を行い、各種共進会、品評会並びに即売会を開催する。農業祭開催の支援を通じて、都市住民との交流を深め、地産地消事業を推進する。	R2臨時職員	0.00人	②中止	1,000千円										
	期間	S53～	R2会年職員	0.00人	③中止										
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験学習型所沢農産物PR事業の開催等が実施できなかったが、豊島区で新たにオープンした農産物を販売する「ファーマーズマーケット」において、生産者や農業者団体の出店調整を行い、市外消費者への所沢農産物のPRを図れた。	R2年度に改善した点	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,456千円	914千円	①体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	市内外の親子が所沢農産物に直接触れ、理解を深めるイベントである体験学習型所沢農産物PR事業への参加人数を指標とした。				体験学習型所沢農産物PR事業を開催する際には、事業のメニューである茶摘み体験等について、新茶まつりの会場で実施することを計画していた。				
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②	R1目標		R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			どのよう貢献したか				
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	R2目標		R2実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	消費者意識の多様化、品質志向等への変化が生じている中で、市内で生産された安全・安心、新鮮な農産物について、所沢産農産物としてブランド化を推進するため、市内のみならず市外の消費者に向けてPRするとともに、販路拡大を支援していくものである。	R2非常勤特別職	0.00人	①中止	R3目標	0組	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の開催を中止したため。	所沢産農物のブランド化を推進することによる市場価値の向上							
	オリジナルデザインシール(2種4シート)の作成及び配布、体験学習型所沢農産物PR事業の開催、所沢農産物応援隊によるPR活動、市内外でのPR活動、長野県上田市との産交流による所沢農産物PR	R2臨時職員	0.00人	②	20組(40名)	20組(40名)									
	期間	R1～	R2会年職員	0.00人	③	10組(20名)									

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止や規模を縮小することにより実施した。既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取り組みを積極的に行った。引き続き、多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を 8. 働きがいも経済成長も 11. 住み続けられるまちづくりを			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	10,000千円	6,501千円	①無料バス乗客数	観光入込客数	令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人の増加を目指す。				R2目標値が未達成の理由・分析				
	根拠法令	所沢市観光団体補助金交付要綱	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②所沢民踊まつり参加人数		R1目標	R1実績							R2目標値が未達成の理由・分析
	事業の目的及び具体的な内容	所沢の魅力を市内外に広くPRし、観光客の誘致を図る活動をしている一般社団法人所沢市まちづくり観光協会に補助をすることにより、市のイメージアップや観光客増加、賑わいの創出、地域の活性化を図っている。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③観光パンフレット発行部数	R1実績	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	期間	S28~	1.14人	0.00人	実績	5,700,000人	5,973,184人	R2目標値が未達成の理由・分析							
			9,476千円	0.35人	①中止	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②中止	6,600,000人	集計中	R2目標値が未達成の理由・分析							
			0.84人		③10,000部	R3目標		R2目標値が未達成の理由・分析							
			6,861千円	0.15人		6,900,000人		R2目標値が未達成の理由・分析							
								R2目標値が未達成の理由・分析							
							R2目標値が未達成の理由・分析								
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	観光ガイドブックとおさんぽナビを刷新し、手に取ってもらえるものとした。コロナ禍でのイベントとして感染対策を講じ、「観光大使」や「トコロん」の出演により「トコロんコンサート」を実施し、本市の魅力のPRを行うことができた。配信によるコラボイベントを、効果的に実施することができた。引き続き、コロナ禍における所沢市のPRに努める。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,707千円	4,294千円	①ロケ実績	Facebook「いいね」とTwitterフォロワー数の合計	SNSを活用した情報発信の効果と、所沢への関心度を図るため採用した。				R2目標値が未達成の理由・分析				
	根拠法令	観光立国推進基本法	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②トコロん貸出件数		R1目標	R1実績							R2目標値が未達成の理由・分析
	事業の目的及び具体的な内容	「観光大使」、イメージマスコット「トコロん」、観光ガイドブック、ロケーションサービス等を通じ、観光客誘致のためのプロモーションを行うもの。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③市主催観光大使出演回数	R1実績	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	期間	H3~	1.37人	0.00人	実績	5,200人	8,642人	R2目標値が未達成の理由・分析							
			11,387千円	1.20人	①49件	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②48件	5,300人	10,277人	R2目標値が未達成の理由・分析							
			0.94人		③7回	R3目標		R2目標値が未達成の理由・分析							
			7,678千円	0.90人		5,400人		R2目標値が未達成の理由・分析							
								R2目標値が未達成の理由・分析							
							R2目標値が未達成の理由・分析								